

全国木遣りサミット

取り組みに至る背景・事業の目的

- 下諏訪町木遣保存会の 50 年の歴史の検証と未来への一層の飛躍の決意を新たにすべく、創立 50 周年記念イベントとして「全国木遣りサミット」を開催する。
- 木遣り唄は諏訪地域だけでなく、全国それぞれの地域で伝承保存されており、全国の木遣り師が諏訪の地に一同に会し交流を深めることで、多くの方に諏訪地方の魅力を伝えられる。また、諏訪地域の各木遣保存会としても、全国の各団体の木遣りを知り親睦を深めることにより、今後の活動をより活発なものにすることができる。

事業内容

- 全国木遣りサミットの開催
平成 24 年 11 月 3 日（土）午後 1 時 30 分より
出演団体：伊勢神宮奉仕会青年部、善光寺木遣り保存会、木曾木遣り筏衆、木場木遣保存会木響会、越谷市木遣保存会、民俗サークル四方山会、下諏訪町第一区下之原騎馬保存会、下諏訪町清水町太鼓長持保存会、諏訪 5 市町村木遣保存会、下諏訪町木遣保存会
- 参加者：750 名
- 内容：出演各団体の木遣り披露
演目間には、有識者に各出演団体の地域の木遣り唄の特徴を解説いただく



【 諏訪 6 市町村木遣保存会 】

事業効果

- 全国各地から参加している保存会や来場者の皆様に、諏訪大社の式年造営御柱大祭木遣り唄を発信することで、諏訪の魅力を伝えることができた。
- 諏訪地域の住民は、県内外の地域の木遣り唄に触れたことで、より一層郷土の文化の価値を深く再認識し、地域への愛情や誇りに繋がった。
- 木遣りサミットの開催日を下諏訪町の秋のイベントに合わせることで、双方の相乗効果により街中は多くの人出となり相乗効果が生まれ、文化、観光、経済の分野においても地域活性化を図ることができた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 全国木遣りサミットに先立って、平成 23 年度よりパンフレット、御柱街道マップ、諏訪大社御柱木遣り唄伝承保存 DVD を製作するとともに、プレ事業として諏訪大社下社御柱曳行路散策ツアー「木遣り師と歩く御柱街道」イベント等を実施し、準備を進めた。
- 大規模イベントの経験がなく、進行管理に苦労したが、多くの方にご協力いただき、まとめられた。
- 親から子へ、子から孫へと脈々と受け継いできた「諏訪大社御柱木遣り唄」・「御柱祭」を全国へ、更には世界へ発信し、諏訪地方の伝統文化の魅力を伝えます。
- 諏訪地方の子ども達が「諏訪大社御柱木遣り唄」を体験し学習する機会を設けることで、郷土文化への理解、地域への愛着や誇りを創出し、青少年の健全育成につながるような活動にしていきます。
- 諏訪大社御柱木遣り唄の伝承保存の活動を通して、御柱祭を盛り上げ、諏訪地域の住民に力を与えると同時に、魅力ある観光地づくりを進めます。

【選定のポイント】

全国の木遣り唄を保存伝承している地域の団体が交流することで、御柱祭・御柱木遣り唄の魅力発信及び観光客の増加が期待される。

団体名	全国木遣りサミット実行委員会（下諏訪町）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	下諏訪町木遣保存会 事務局 0266-28-1282	事業費	4,039,969 円
		支援金額	3,250,000 円